

## 寒河江ダム 『フラッシュ放流』の実施

～ 下流河川の環境改善を目的として ～

寒河江ダムでは、ダムから下流の水ヶ瀬ダム(東北電力(株))までの約5km区間において、河川に堆積した泥や浮遊藻類を流掃し、河川環境の改善を図ることを目的に、フラッシュ放流を行います。

フラッシュ放流の期間は、6月下旬から10月上旬までの毎週木曜日に実施します。

第1回目は、6月27日10時から徐々に放流量を増やしていき、最大放流量30m<sup>3</sup>/sで30分間継続します。その後、放流量を6m<sup>3</sup>/sに減らし30分間継続して終了します。

今年度は合計14回の放流を計画しており、放流のパターンとして、1秒間に流す水の量を10m<sup>3</sup>/s、20m<sup>3</sup>/s、30m<sup>3</sup>/sの3パターンとしています。

なお、フラッシュ放流の前に出水があつてダム放流を実施した時は、フラッシュ放流を中止することもあります。

### 【フラッシュ放流とは】

川を流れる水の量の変化が少ない状態が長い時間続くと、「よどみ」が発生し、河床(川底)に藻類の繁殖や汚れなどがついたままとなったりします。これは、環境・景観に対して好ましくありません。ダムで貯めている水を定期的に放流することによって、“よどみ”の発生を抑え河川をリフレッシュする効果があります。

平成9年度から試行及び試験を行い、平成20年度から運用しています。

### 【記者発表会：山形県政記者クラブ】

<問い合わせ先>

国土交通省東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所(寒河江ダム)

技術副所長 たかはし 高橋 ながゆき 長幸 (内線204)

管理課長 たかはし 高橋 しげる 秀 (内線331)

電話：0237-75-2311(代表) 0237-75-2312(管理課直通)

住所：山形県西村山郡西川町大字砂子関158

## 【フラッシュ放流】

フラッシュ放流に伴う川の水位・流量変化は、午前10時から放流を開始し、12時頃が最大の水量となり、30分ほど経過後水量を減少させます。15時頃には通常の状態に戻ります。

この期間に寒河江ダム～水ヶ瀬ダムの寒河江川で釣りなどをされる方は注意して下さい。

## 【過去のフラッシュ放流状況写真】

### ◆フラッシュ放流前



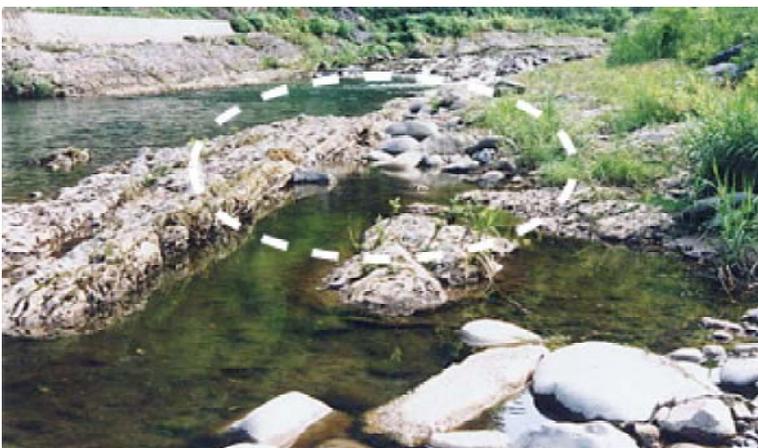
浮遊藻類があります。

### ◆フラッシュ放流中



川の水位が上昇します。

### ◆フラッシュ放流後



浮遊藻類が流されました。